

佐々木和之・大竹裕子 第二回 オンライン対談


— 暴力紛争後の癒しと平和への道すじ —

佐々木和之 活動報告会

2023年5月12日(金) 18:30-20:00 YouTube ライブ配信



2月3日に大竹裕子さんとの第一回対談をおこないました。ジェノサイドの複雑な状況の中で政府が否定している虐殺について語る事が出来ない人がいることを教えていただき、その方々の苦しみと

心の傷を癒すための試みの道のりがどのようなものであるのかなど学ぶ時になりました。対談の中でもお知らせしておりましたが、第二回の対談をおこないます。前回に続く内容として、癒しと和解のプロセスにおいて、被害や加害の経験について語る事の意味や、語る事が出来ない中での回復の道のりの限界について対談していただきます。最後には、二回の対談で話し合われた問題を踏まえ、暴力紛争後の復興支援の在り方をどのように再検討する必要があるのかについて話し合ってください。前回の対談動画、またはウブムエ63号の対談記録をご覧ください。前回の動画 URL <https://youtu.be/dxAqGoQwOeQ> バーコード → 

対談と合わせて、佐々木和之さんの最近の活動の様子を報告する時にもさせていただきます。皆様のお越しをお待ちしています。

対談は、「YouTube ライブ配信」です。どなたでも視聴できます(無料)。配信内容は録画され、同じ URL で後から見ることも可能です。URL は「佐々木さんを支援する会」のホームページ (<http://rwanda-wakai.net/>) でも確認できます。



URL <https://youtube.com/live/0PeJJBu4Pbo> YouTube 二次元バーコード ↑

対談者の紹介

大竹裕子 (おおたけ ゆうこ)：博士(心理学・医療人類学)。横浜市立大学特任准教授

ロンドン大学衛生熱帯医学研究院(LSHTM)博士課程修了。JICA 青年海外協力隊(ルワンダ)、東京大学非常勤講師、オックスフォード大学リサーチフェロー、国連パレスチナ難民救済機関政策研究アドバイザー等を経て現職。暴力や紛争など人権侵害によって尊厳を奪われた人々がそれを取り戻してゆくのを支えることに深い関心をもち、国内外で様々な活動を行ってきた。JICA 青年海外協力隊員として、ルワンダにおいて紛争孤児・寡婦・女性のための福祉活動を行い外務大臣感謝状を受ける。その後も研究者としてルワンダでのフィールドワークを続け、「生きることがなぜ、たましいの傷を癒すのか」をテーマとした民族誌を執筆し、ロンドン大学から博士号を授与される。日本国内でも、優れた民族誌研究としてアフリカ協会論文賞、同協会アフリカ賞、コミュニティ心理学会論文賞、質的心理学会若手賞を受賞。『生きることがなぜ、たましいの傷を癒すのか～紛争地の医療人類学』2023年夏、みすず書房より出版予定。

こちらから書籍の先行予約ができます

<https://forms.gle/rZ26Rxx7s5gbWXby7>



佐々木和之 (ささき かずゆき)：プロテスタント人文社会科学大学 PIASS (Protestant Institute of Arts and Social Sciences) 開発学部 准教授 日本バプテスト連盟国際ミッション・ボランティア。2011年から、PIASS 平和学教員として、平和構築ワーカーの育成とネットワークづくりに注力している。

*終了後、Zoom で懇談の時を持ちます。ご参加ください。ミーティング ID: 899 7615 8738 パスコード: ubumwe

佐々木さんを支援する会 世話人会代表 中條 智子

事務局 〒235-0041 横浜市磯子区栗木 1-22-3 / TEL 045-774-9861 洋光台キリスト教会内(萩原永子)

事務局長 播磨 聡 (広島キリスト教会 TEL 082-293-8683)